

曲がるディスプレイ、 どうやって作る？ どう使う？

第1部
公開講座

入場無料

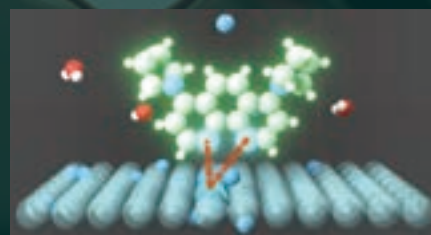
2024.11.3(日) 13:00~13:50 (受付開始 12:30)

講師：深川 弘彦 千葉大学先進科学センター特任教授 (デバイス工学)

会場：千葉大学 西千葉キャンパス
工学部 17号棟 (T17) 講義室 213



みなさんが使っているテレビやスマートフォンに代表されるように、ディスプレイは最も身近な電子デバイスの一つと言えるでしょう。ディスプレイ技術は、かつての50cmの奥行きから、現在の数ミリ厚へと大きく進化しました。初期のブラウン管テレビから液晶やプラズマ技術の発展を経て、現在は有機エレクトロルミネッセンス素子(有機EL素子)が主流です。この技術では、有機物が電流で発光し、極めて薄いディスプレイが実現されています。特に、有機EL素子は数マイクロメートルの厚さで作れるため、薄いフィルム上に製造することで、曲げられるディスプレイが実現可能になります。



中学生以上を対象としますが、どなたでもご参加いただけます。

要事前申込

定員 100人



▲ 参加申込フォーム

同日開催

第2部

14:00~ 飛び入学(先進科学プログラム)説明会

全体の紹介/分野別説明/個別相談/学生室見学会



▲ 詳細はこちら

問い合わせ

千葉大学 先進科学センター

Tel : 043-290-3521

Email : cfs-info@chiba-u.jp